

地域再生と「いわぬま日本語ひろば」の立上げ



公益社団法人 青年海外協力協会
Japan Overseas Cooperative Association

2024年7月16日



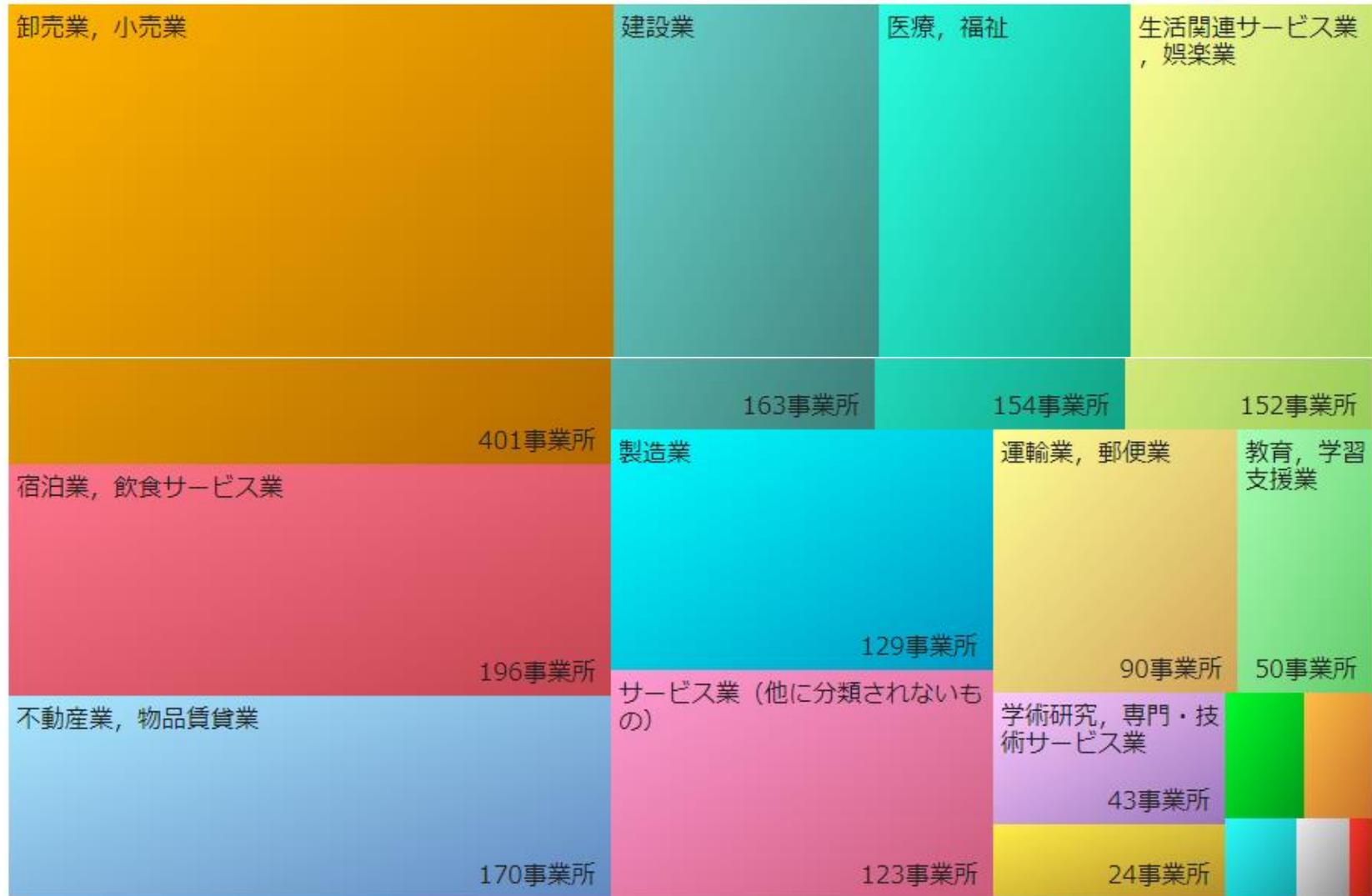
岩沼市の地理と概要



人口 43,448人 (R5.12末現在)
高齢化率 27.6%
面積 6,045ha
全域都市計画区域
市街化区域 1,151.7ha
調整区域 4,893.3ha



岩沼市内の業所数 (2021年) 1,738事業所



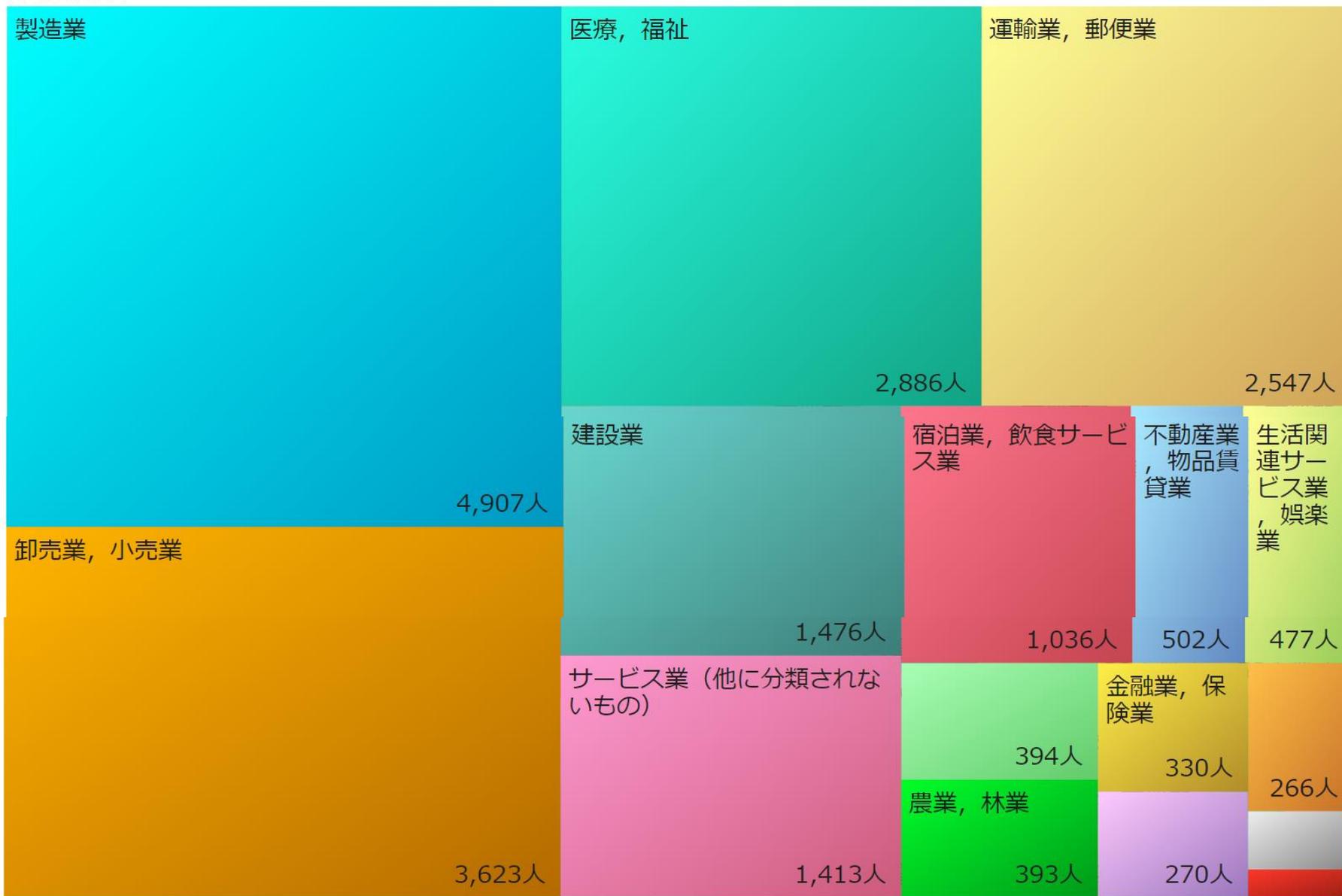
上図以外の事業所数(事業所単位)の合算: 0事業所



日本製紙株式会社 岩沼工場



トーヨータイヤ 仙台工場



岩沼市内の事業所従業員数 (2021年)
20,689人



株式会社にしき食品



株式会社 利久

出典：RESAS 地域経済分析システム

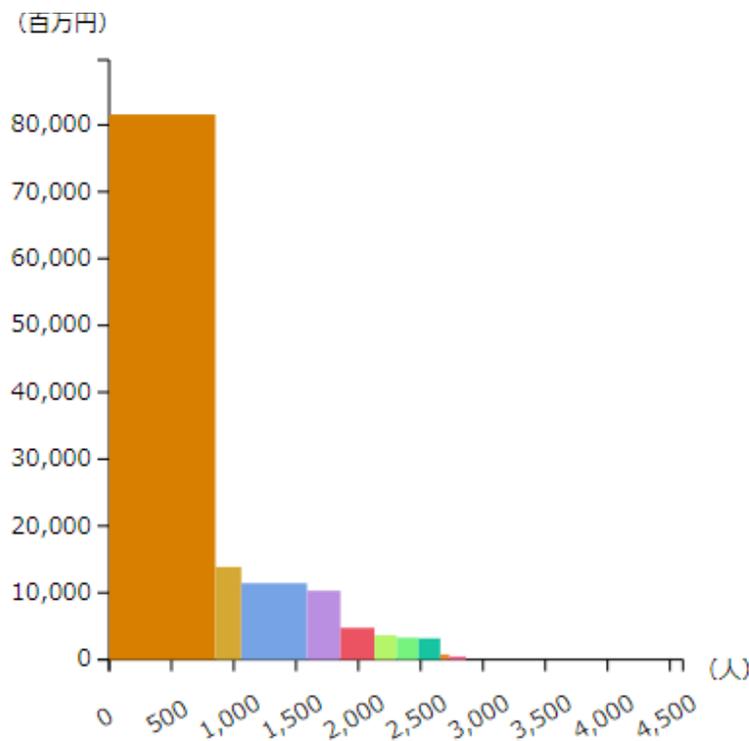
製造業における製造品出荷額と従業者数の変遷

出典：RESAS 地域経済分析システム

2000年

製造品出荷額計：165,807.78百万円 (0%)

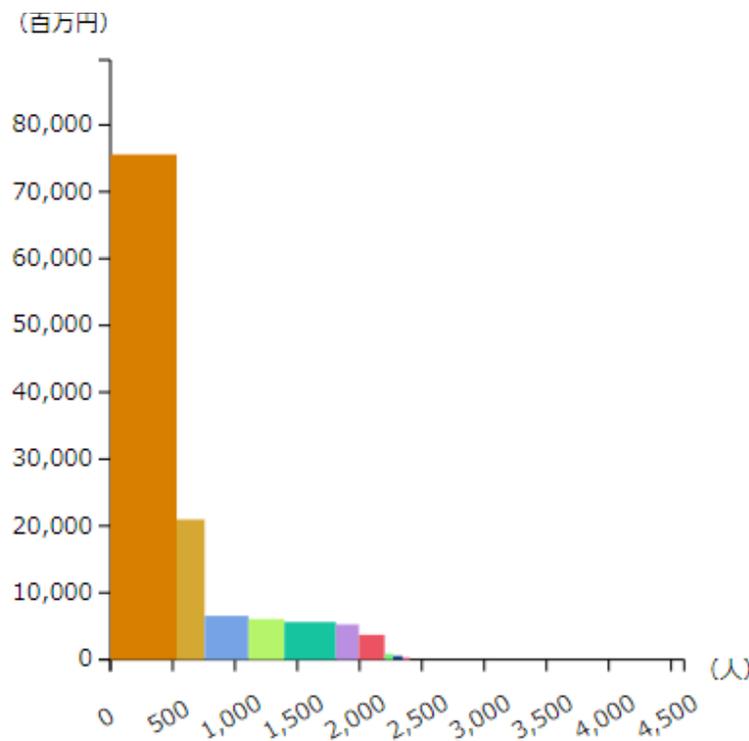
従業者数計：4,017人 (92%)



2010年

製造品出荷額計：185,327.20百万円 (0%)

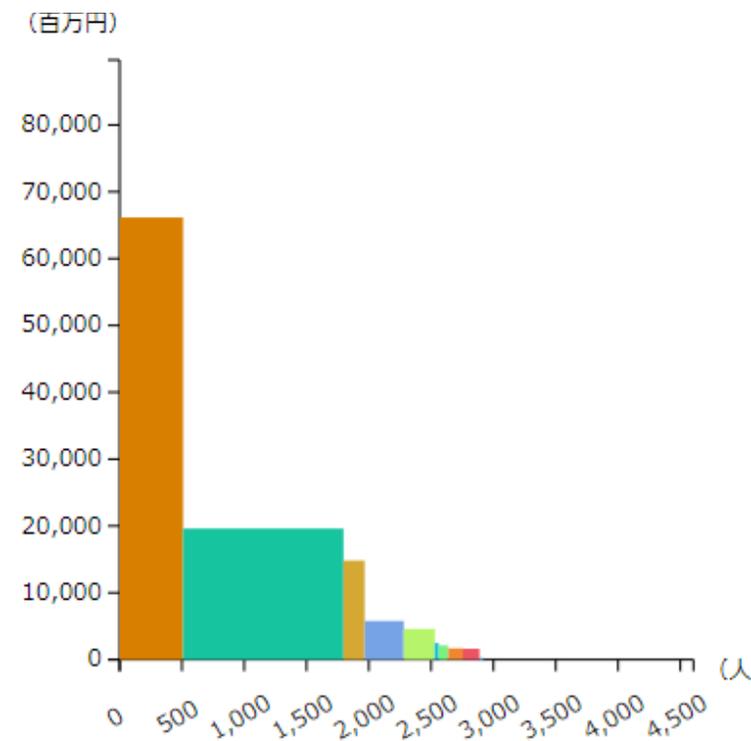
従業者数計：4,055人 (93%)



2020年

製造品出荷額計：172,625.73百万円 (61%)

従業者数計：4,605人 (95%)



- 食料品製造業
175人 (4.36%)
- 飲料・たばこ・飼料製造業
9人 (0.22%)
- 木材・木製品製造業 (家具を除く)
268人 (6.67%)
- 家具・装備品製造業
15人 (0.37%)

- 食料品製造業
414人 (10.21%)
- 木材・木製品製造業 (家具を除く)
184人 (4.54%)
- 家具・装備品製造業
2人 (0.05%)
- パルプ・紙・紙加工品製造業
532人 (13.12%)

- 食料品製造業
1,287人 (27.95%)
- 木材・木製品製造業 (家具を除く)
109人 (2.37%)
- パルプ・紙・紙加工品製造業
509人 (11.05%)
- 印刷・同関連業
118人 (2.56%)

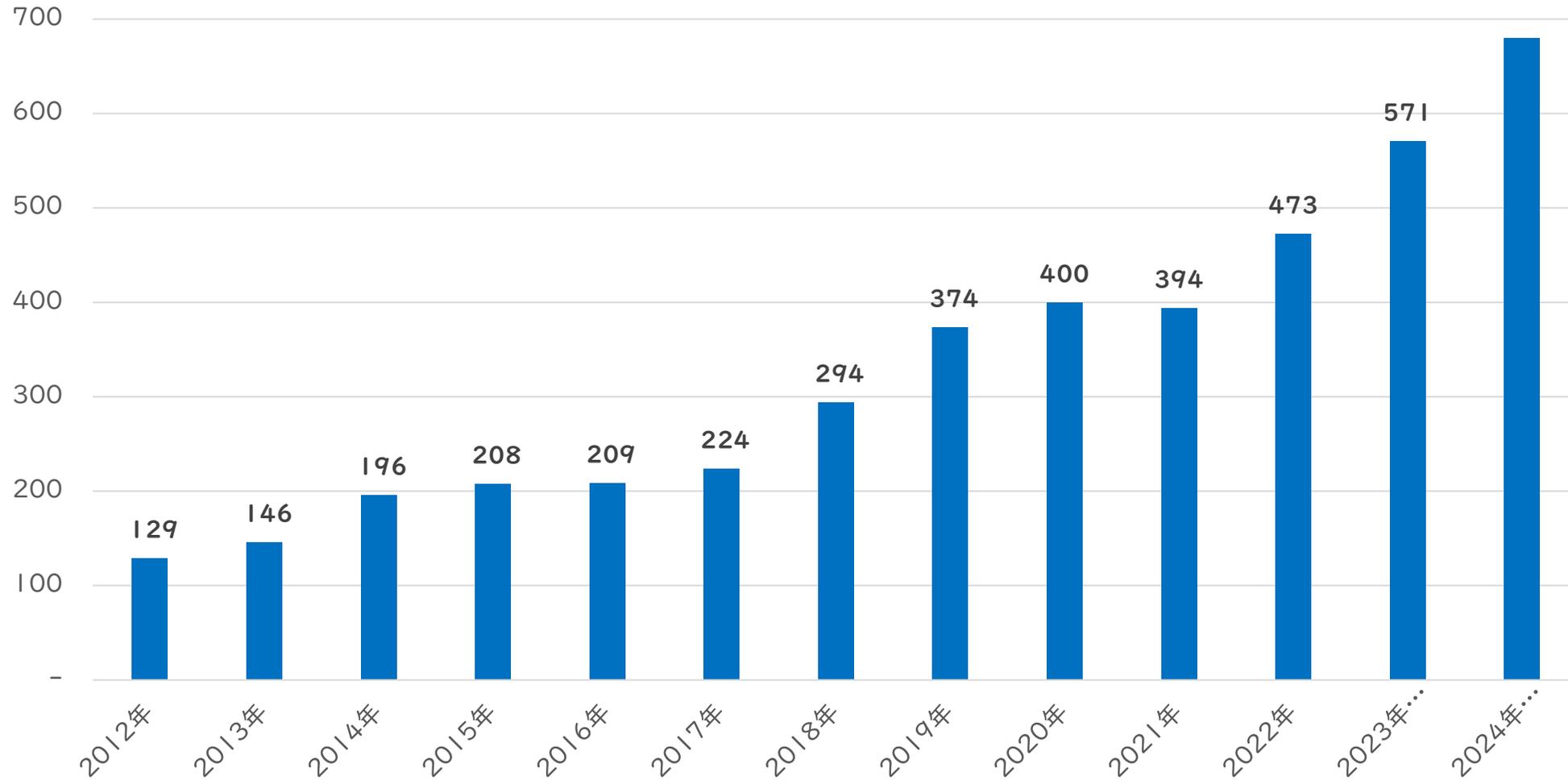
岩沼市内に在留する外国人数の推移

法務省資料、及び岩沼市ホームページより作成
2023年、2024年以外は各年12月末現在

岩沼市人口の約1.5%

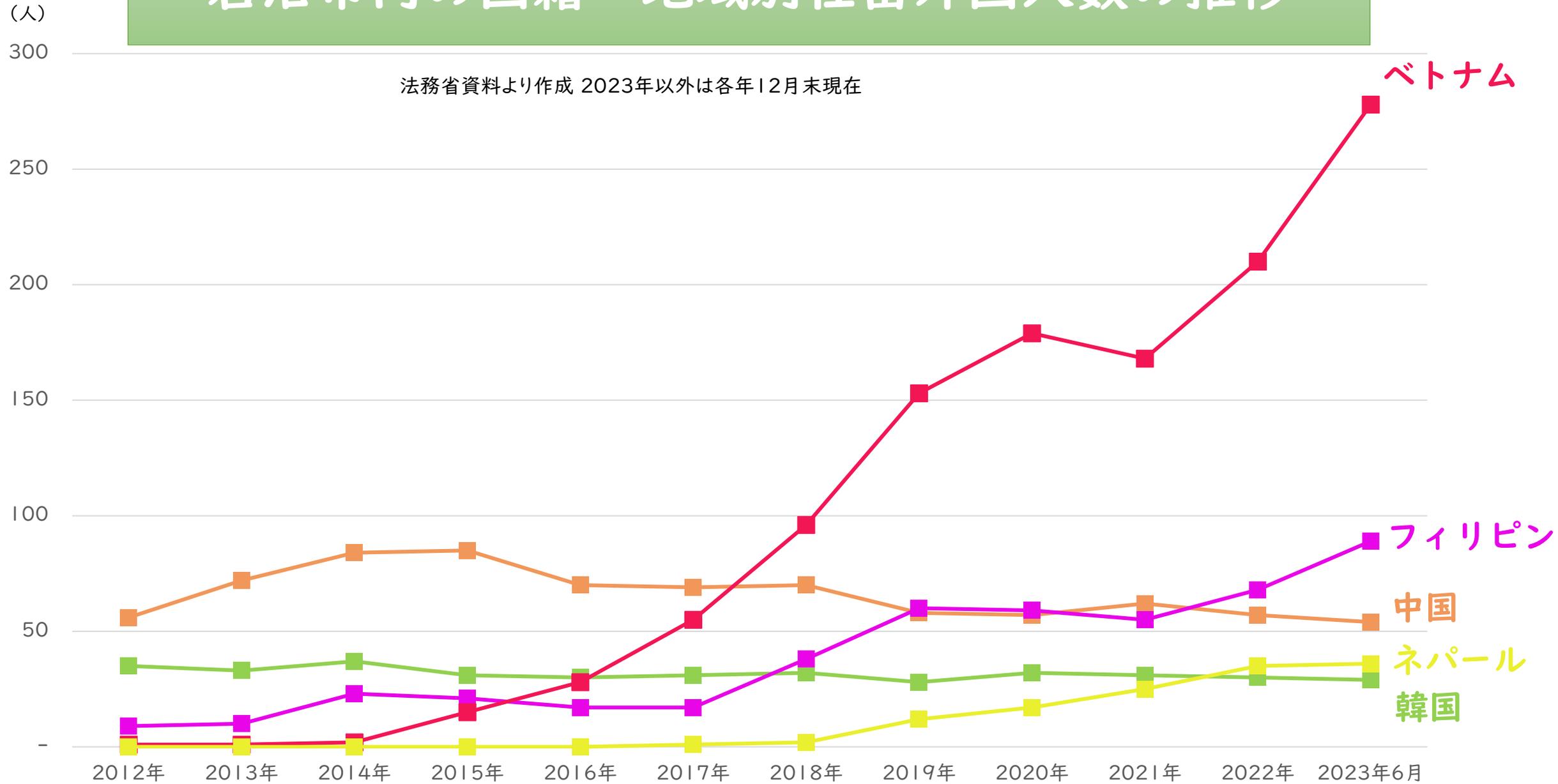
(人)

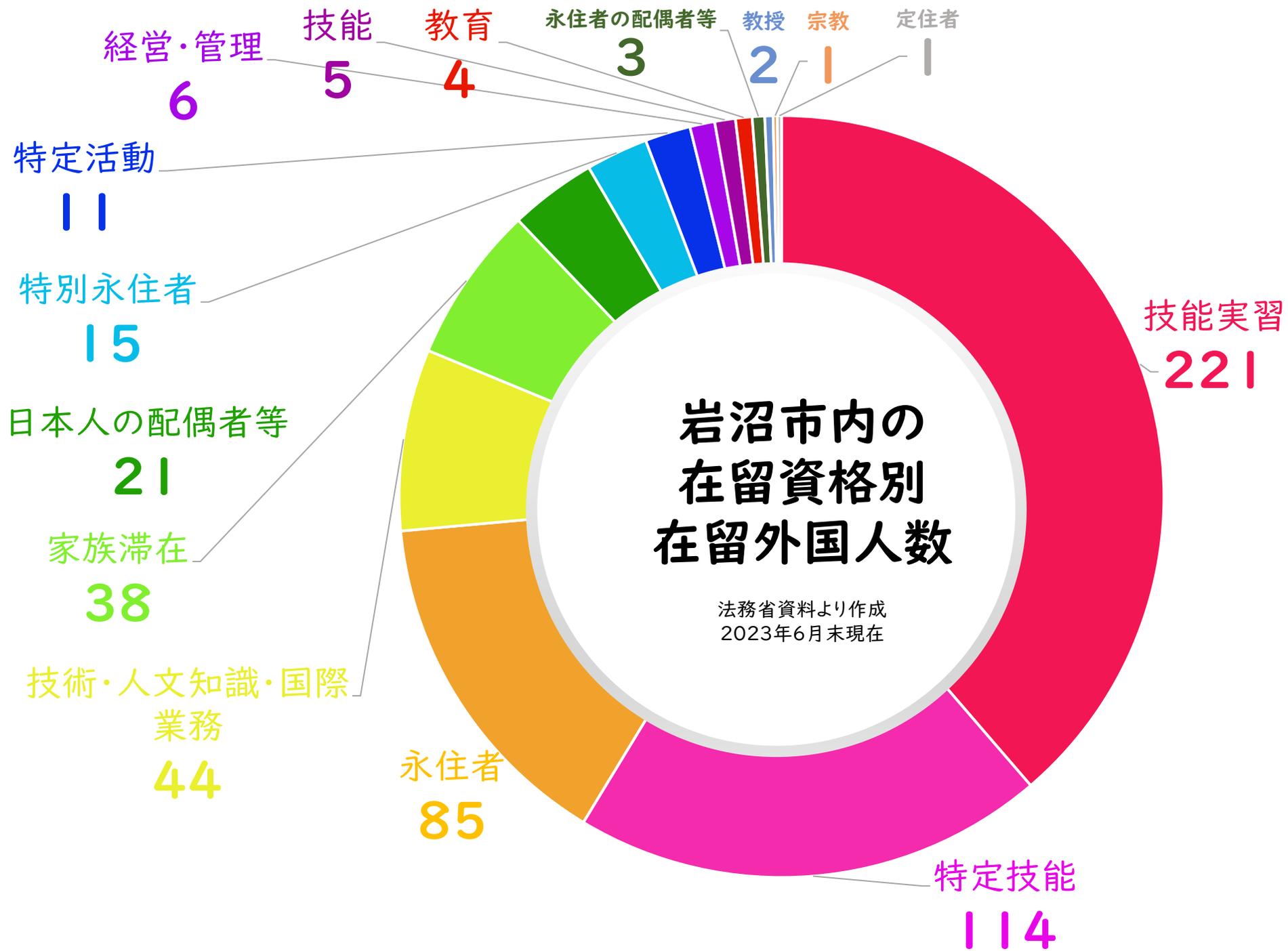
680



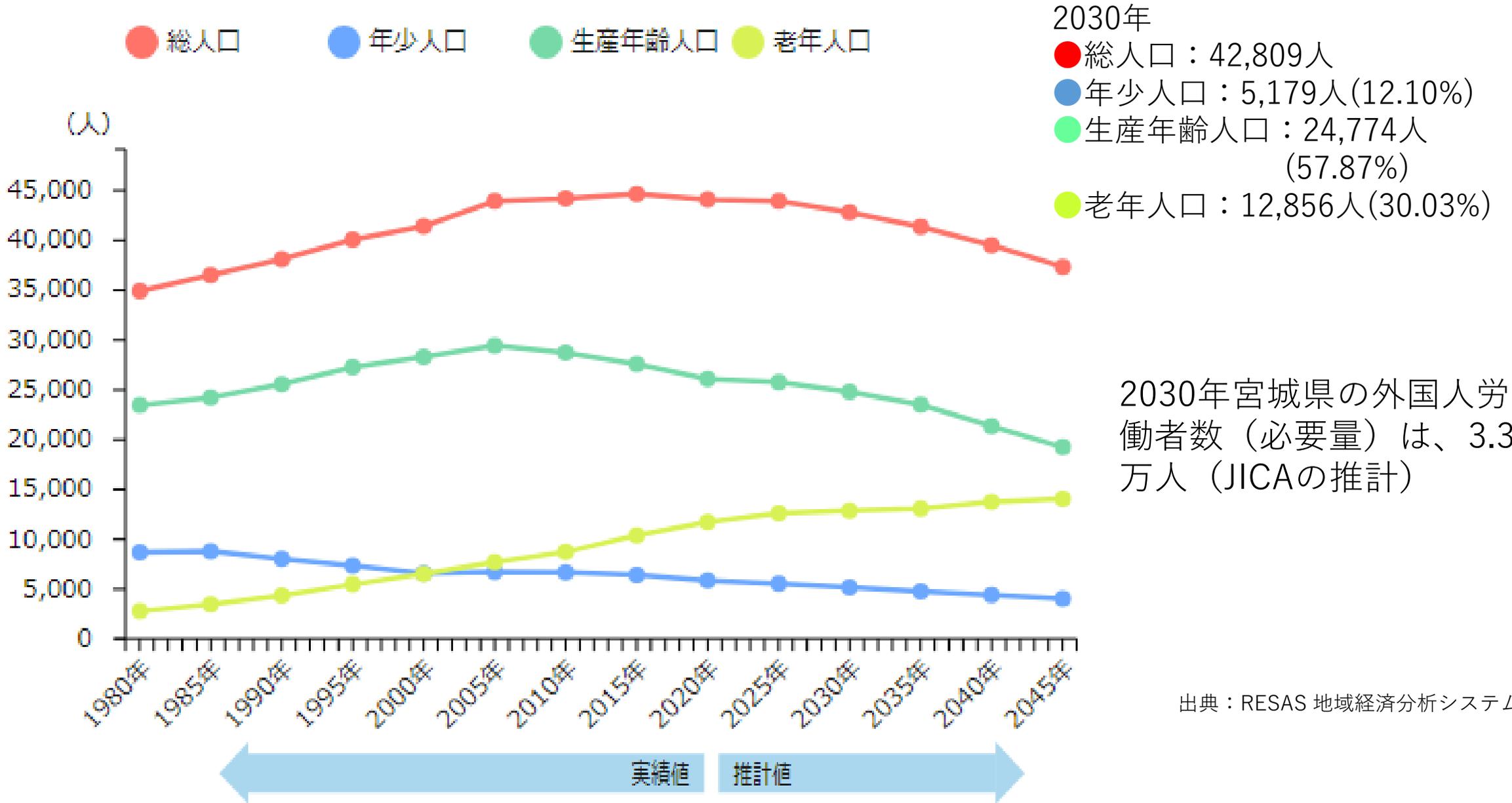
岩沼市内の国籍・地域別在留外国人数の推移

法務省資料より作成 2023年以外は各年12月末現在





宮城県岩沼市



出典：RESAS 地域経済分析システム

特定技能1号の在留者数と受け入れ見込み数

※単位は人

既存の12分野	受け入れ見込み数		23年末 時点の 在留者数
	2024～ 28年度	19～ 23年度	
介護	13万5000	5万0900	2万8400
ビルクリーニング	3万7000	2万0000	3520
製造業	17万3300	4万9750	4万0069
建設	8万0000	3万4000	2万4433
造船	3万6000	1万1000	7514
自動車整備	1万0000	6500	2519
航空	4400	1300	632
宿泊	2万3000	1万1200	401
農業	7万8000	3万6500	2万3861
漁業	1万7000	6300	2669
飲食料品製造業	13万9000	8万7200	6万1095
外食業	5万3000	3万0500	1万3312
追加された 4分野			
自動車運送業	2万4500	—	—
鉄道	3800	—	—
林業	1000	—	—
木材産業	5000	—	—
合計	82万0000		

毎日新聞記事 (2024年3月30日)

特定技能

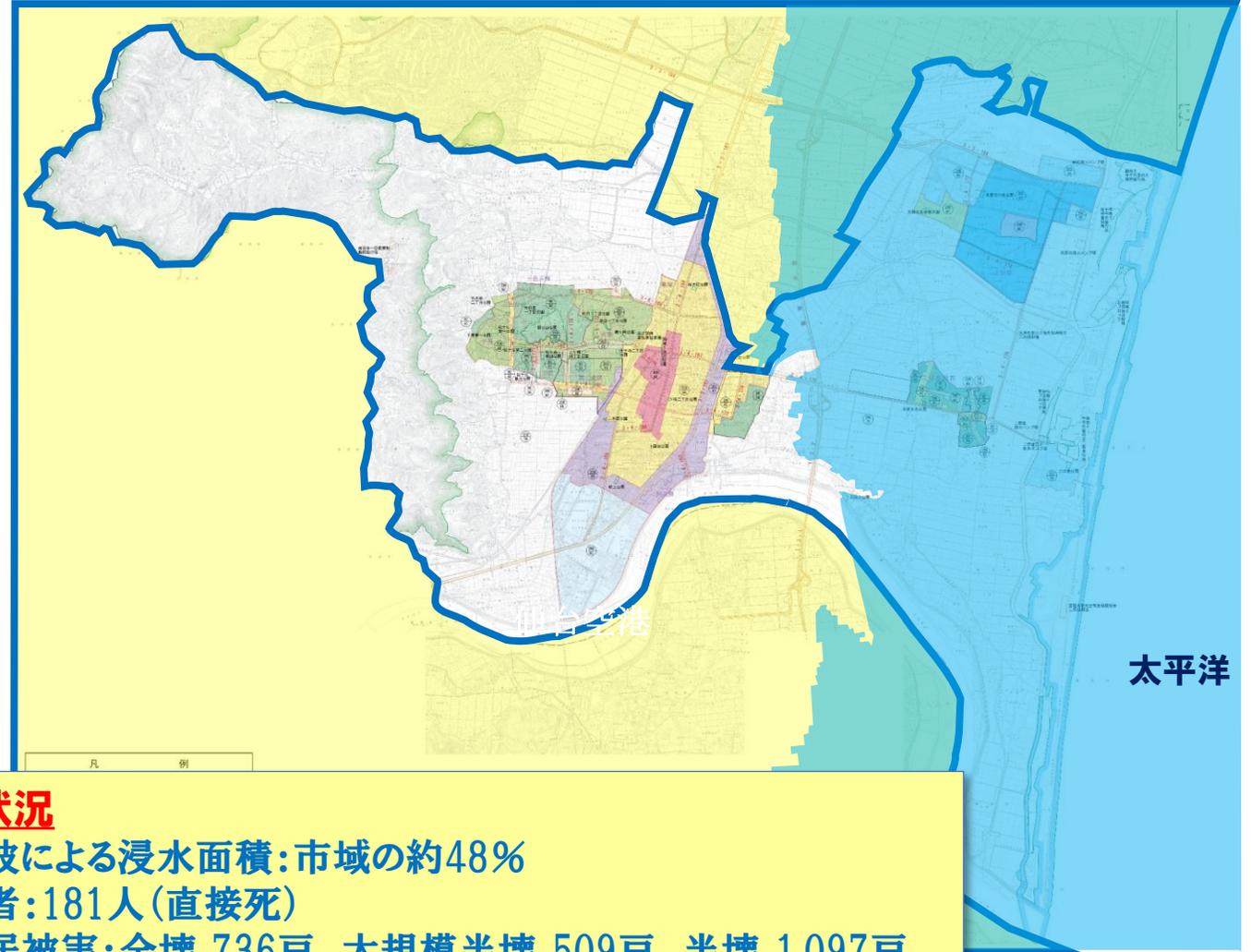
人員不足が深刻な産業で外国人労働者を受け入れる在留資格
(2019年に創設)

- 特定技能の受入れ見込み数を82万人に拡大 (2024年～2028年度)
- 4分野の追加



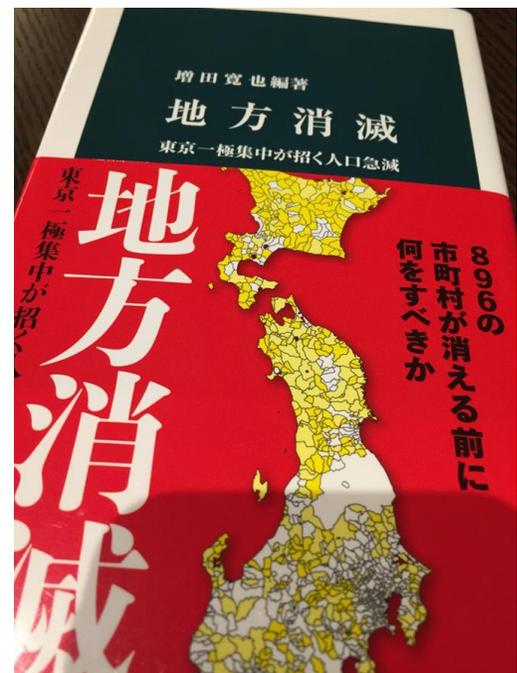
特定技能と一体運用となる
「育成就労」改正法の成立

東日本大震災による被災と復興



被災状況

- 津波による浸水面積:市域の約48%
- 死者:181人(直接死)
- 住居被害:全壊 736戸、大規模半壊 509戸、半壊 1,097戸、一部損壊 3,086戸、計5,428戸(H24.11.30時点)
- 瓦礫等の量:約62.7万t



2014年8月（初版発行 著者：増田 寛也）

まち・ひと・しごと創生
法の公布（2014年11月）



玉浦西地区防災集団移転

人口減少・少子高齢化に歯止めをかけ、
魅力あふれる地方創生の取り組みの推進



**第2期岩沼市まち・ひと・しごと総合戦略
（令和2年度～令和6年度）の策定**



千年希望の丘

岩沼市地域再生計画（生涯活躍のまち）

復興から地方創生



2020年度～2022年度 岩沼市全世代活躍できる地域づくりプロジェクト
（地方創生推進交付金事業）

令和2年度『岩沼市全世代活躍できる地域社会づくり』への 取り組み

2015年「岩沼市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定
基本目標を設定し、持続可能なまちづくりに取り組んでいる

- ①岩沼にしごとを作り、安心して働けるようにする
- ②岩沼への新しいひとの流れをつくる
- ③若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶える
- ④共創のまちをつくとともに、地域と地域を連携する

人口減少社会の中で地域コミュニ
ティを生かした住みよいまちづくり

岩沼市が定める目標人口

約20年後（2040年）に40,000人を維持

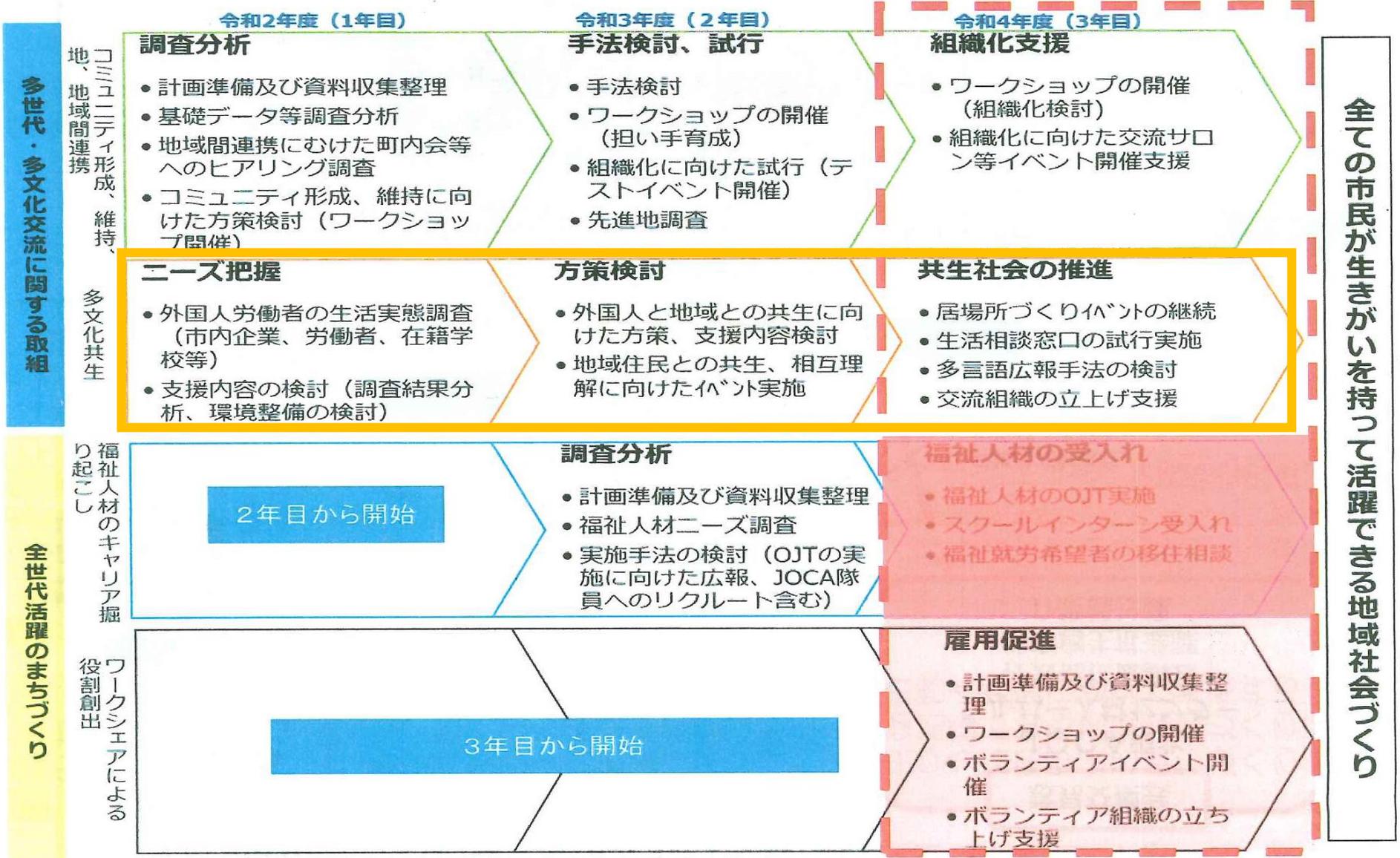
2040年：約40,100人

2060年：約34,200人

様々な取り組みにより、人口減の程度を抑えつつ、人々のつながりを再生し
社会変化に対応した地域を作っていくことが必要

岩沼市全世代活躍できる地域づくりプロジェクト内容

スケジュール



全ての市民が生きがいを持って活躍できる地域社会づくり

外国人住民へのアンケート調査

【対 象】市内在住外国人（無作為に抽出した200名）

【選択記述】日本語、ベトナム語、英語、韓国語、中国語の5か国語

【内 容】全21問（回答者の属性、暮らし、言葉、生活支援）

【回 答】60名（回答率30%）

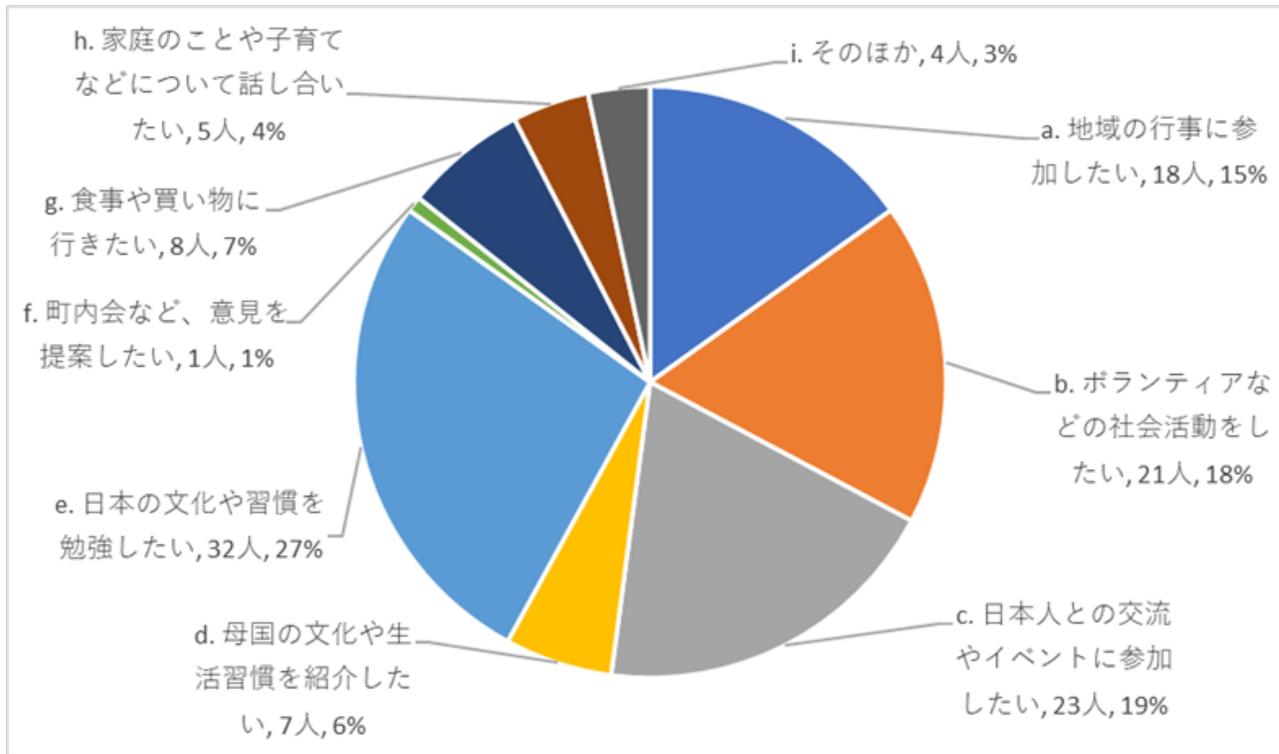


○職場では親しく接する人がいるが、職場以外（地域住民や外国人住民同士）の交流が少ない。交流したくても、職場以外で交流する機会はきわめて少ない。

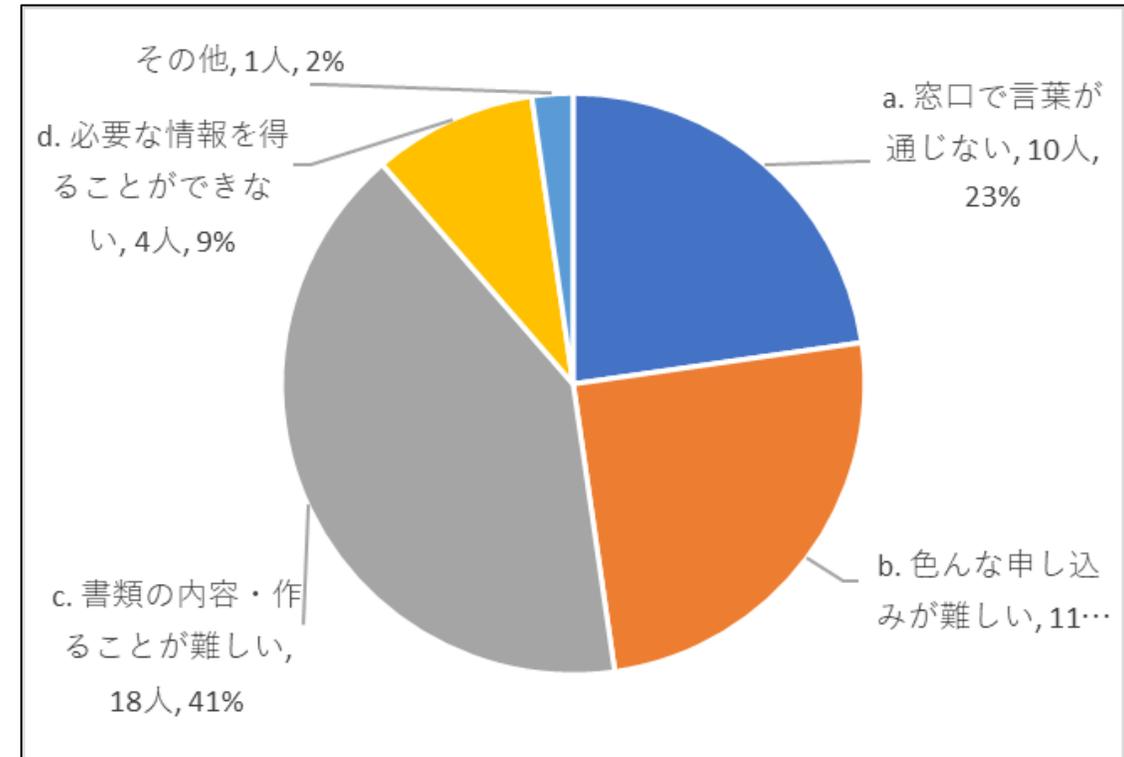
○外国人住民に対する行政サービスが不足している。

外国人住民へのアンケート調査結果

日本人とやりたいこと



行政サービスでの困りごと



外国人材を雇用している企業のヒアリング調査

【対 象】 外国人を雇用している市内企業5社

【内 容】 雇用理由、雇用による会社の変化、大変だったこと、
日本人従業員との関係性、外国人従業員の地域での課題、行政への要望



- 外国人従業員を雇用することにより人脈が広がった。
- 外国籍の方と共生していくためには、災害時や医療・行政手続きにおいての多言語サービス、日本語教育などが必要だと思う。
- 外国人従業員からすれば、医療機関での専門用語や行政での各種手続きも困難となっている。
どこに行けば何ができるのか、生活に必要なサービスを受けられる場所を自分たちで探すことが難しいという。
- 地域社会に知り合いが増える機会、外国人従業員が地域社会と交流できる場所があって欲しい。

市内企業への外国人雇用に関するアンケート調査

【対象】 市内企業209社（建設業72社、製造業40社、卸売業・小売業33社、
宿泊業・飲食サービス業12社医療・福祉22社、サービス業30社）

【内容】 全17問（現状について（雇用の有無、日本人とのコミュニケーション）、
受け入れに対する課題）

【回答】 92社（回答率44%）

外国人の雇用状況

（単位：社）

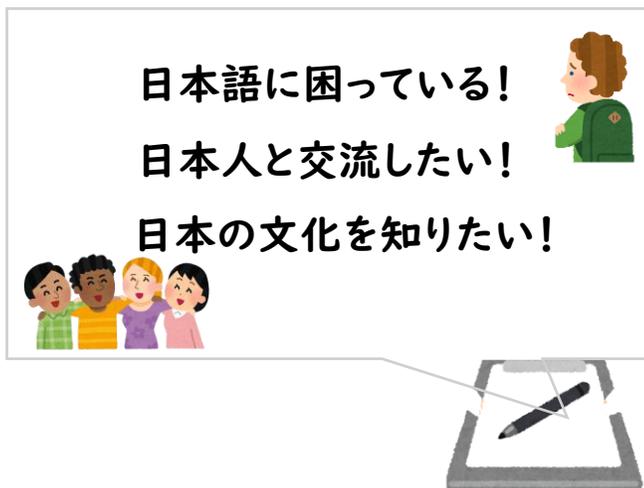
雇用している	雇用を検討中	雇用していない	無回答	計
11	9	66	6	92

調査結果のまとめ

- 外国人住民や雇用企業及び学校が共通して課題とあげたのは「コミュニケーション」であり、互いにコミュニケーションを取る方法が課題となっている。
- 外国人住民への支援として、誰もが自由に参加できる日本語教室の要望があった。
- 外国人住民が地域コミュニティに加わるためには、地域住民の多文化理解も重要となる。
- 外国人住民からは、災害時における防災情報や対応について、教えて欲しいというニーズが多かった。

いわぬま日本語ひろばの経緯

令和2年度



岩沼市からの委託業務
「岩沼市全世代活躍できる地域プロジェクト」
市内在住外国人住民約60名に
アンケート実施

令和4年度



宮城県国際化協会(MIA)の協力のもと、
「日本語交流サポーター育成講座」実施
「日本語ひろば」お試し開催

令和5年度～



岩沼市からの委託業務
「多文化共生推進事業」及び
宮城県国際化協会(MIA)の協力のもと、
「日本語ひろば」月2回定期開催

いわぬま日本語ひろばの活動内容

- トピック(学校、食事など)を設定し、参加者同士が日本語で話をする。
- 外国人参加者は、トピックの中で用いられる言葉や文型を理解し、日本語で言えるようになること、日本語を使ってできるようになることを増やしていく。
- 日本人は教える人、外国人は学ぶ人という固定された関係ではなく、共に学び、共に育つ対等な立場で会話を楽しみながら、お互いの文化や考え方について理解を深めていく。

活動の様子：対話活動(発表)



やさしい日本語ニュース(河北新報社)を使用したワーク

関上の町を船から見るができます。お客を乗せる「ゆりあげ丸」が始まりました。

河北新報やさしい日本語ニュース 2022年5月13日

宮城県名取市の関上で7日から、船に乗って川の景色を楽しむコースが始まりました。船の名前は「ゆりあげ丸」と言います。大きさは7・2mで、10人の客が乗ることができます。レストランや店が多く集まっている「かわまちてらす関上」の前から乗ります。コースは二つあります。

一つ目は、船に乗って、ゆりあげ港朝市や名取市サイクルスポーツセンターまで行くコースです。そこで、30分くらい買い物や散歩を楽しみます。その後、また船に乗って帰ります。全部で1時間30分くらいかかります。このコースは、日曜日と祝日(国が決めた休みの日)だけで、1日3回、動きます。乗るお金は700円です。

二つ目は、船に乗って、景色を楽しむコースです。時間はだいたい15分で、お金は500円です。月曜日と、水曜日から土曜日で、1日5回です。

関上の町は、2011年3月11日の東日本大震災で、たくさんの人が亡くなりました。家が流されたりしました。でも、今は新しい家や建物ができて、川や海もきれいになりました。関上はとってもいい所なので、名取市役所の人は、もっとたくさんの人に遊びに来てほしいと考えました。それで、船に乗って楽しむコースを作りました。

7日には、山田司郎市長が船に乗りました。山田市長は「気持ちのいい風を感じながら、きれいな景色を見ることができるので、とてもいいです」と話していました。



【河北新報提供】

💡 やってみましょう

文を読んで、正しいものに○、正しくないものに×を書いてください。

- () ゆりあげ丸に乗ると、海の景色を楽しむことができます。
- () 一つ目のコースは、日曜日と祝日しか乗ることができません。
- () 二つ目のコースは、一つ目のコースより乗る時間が短いです。
- () 山田市長は、ゆりあげ丸に乗って気持ちが良かったです。

✍️ 書きましょう

名取市の関上で、_____に乗って川の_____を_____コースが_____ました。関上はとても_____なので、名取市役所の人は、たくさんの人に_____ほしいと考えて、コースを作りました。

🗣️ 話しましょう

- あなたは関上に行ったことがありますか。あなたなら、どちらのコースに乗ってみたいですか。
- あなたは船に乗って、景色を楽しんだことがありますか。また、船で旅行したことがありますか。

活動の様子：ニュースの音読、「話しましょう」の対話活動



正月遊びの体験：福笑い



ございんIWANUMAワールドフェス



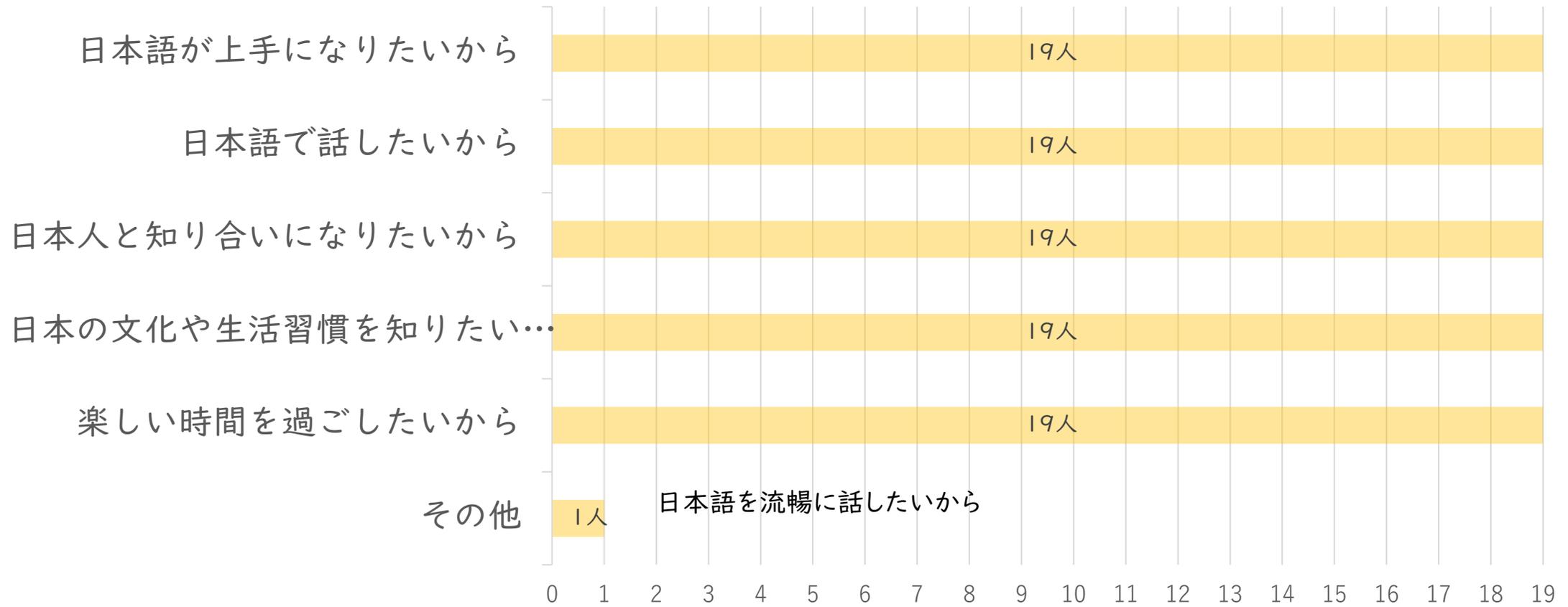
日本語ひろばの活動実績（2023年度）

実施回数：22回

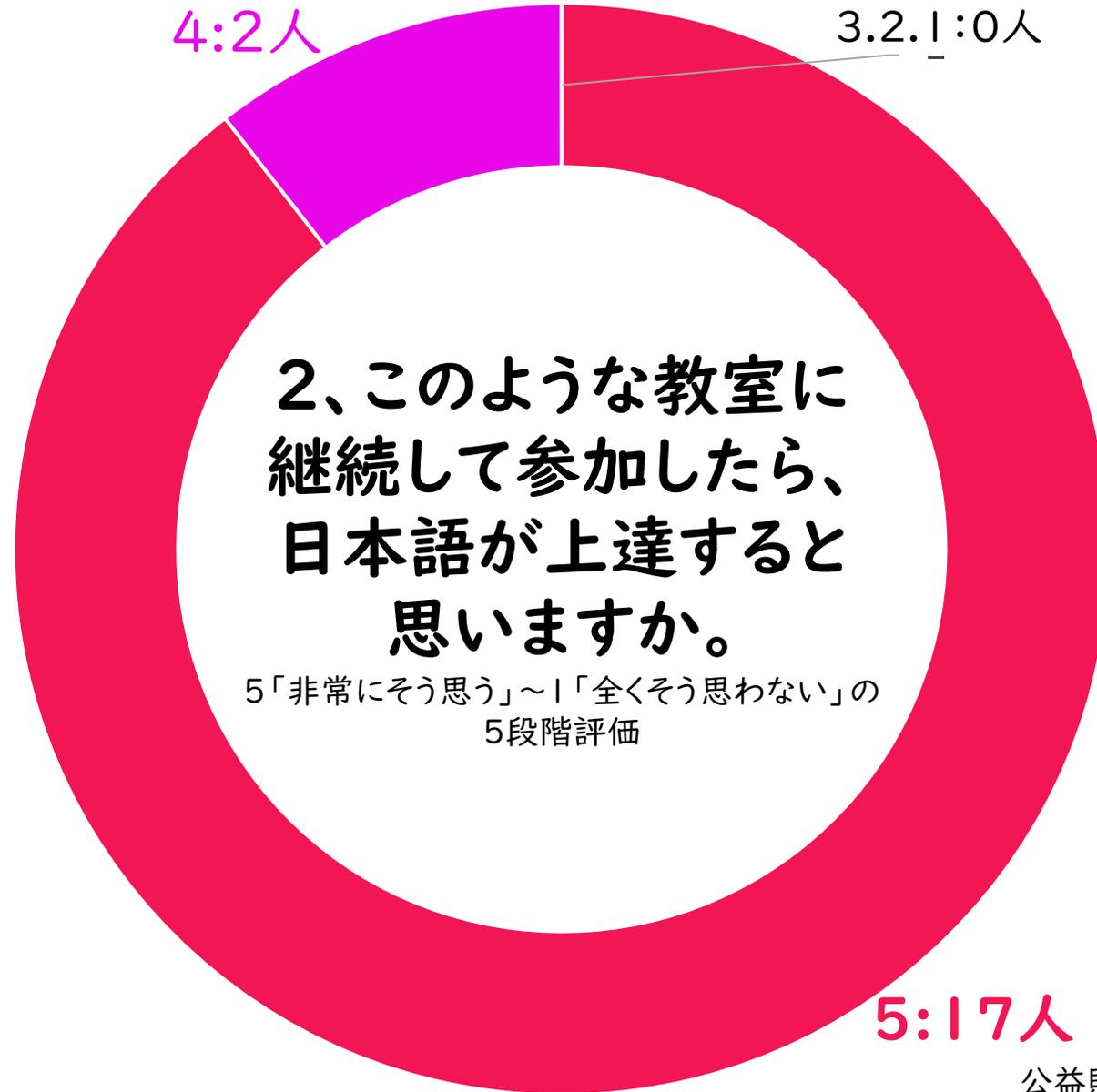
	外国人参加者	日本語交流サポーター
延べ参加者	141名	91名
回平均	6名/回	4名/回

外国人参加者からのアンケート結果（19名）

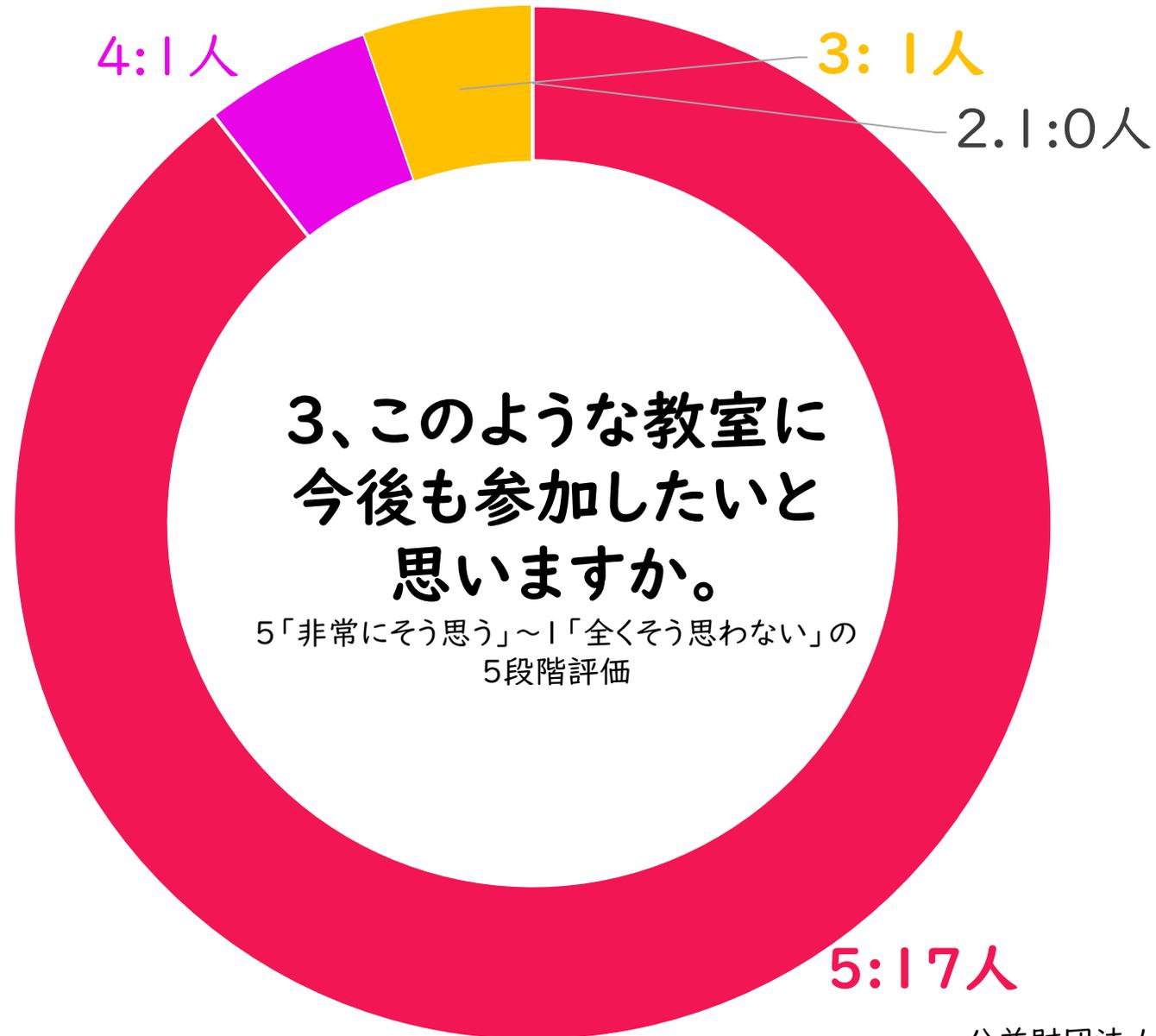
1、どうしてこの教室に参加したいと思ったのですか？



外国人参加者からのアンケート結果



外国人参加者からのアンケート結果



外国人参加者からのアンケート結果

4、この教室について、ご意見・ご感想をお書きください。(抜粋)

- ◎日本語の語彙をたくさん学べるのはとても面白いし、楽しい。
- ◎このクラスは、私たちの日本語力を向上させ、日本人と良い関係や友情を築くのに役立つと思う。
- ◎日本人とコミュニケーションを図ることができ、とても楽しいので、日本語が上達するのに役立つと思う。
- ◎もっと日本語を話せるようになるし、上達にも役立つから、このクラスに参加するのが楽しい。
このクラスに来て、日本の文化のことを教えてもらえることが嬉しい。
- ◎多くのことを学べ、日本語力が向上し、そして日本文化にも親しめるので、このクラスに参加するのがとても好き。今日のクラスに参加して、とても良かったと思っている。
- ◎このクラスに定期的に通うことは、日本語を話す能力や日本語の理解力を向上させるのに役立つ。
日本人と知り合いになることもいつも嬉しいことである。今日はとても楽しかった。ありがとうございました。
- ◎日本人の先生やボランティアの方々の優しさと忍耐強さに好感を持ちました。岩沼での生活が楽しくなります。
- ◎新しい日本の方と出会うことはコミュニケーション力向上にとっても役立つと思う。文化交流は素晴らしい経験だと思う。

「いわぬま日本語ひろば」のまとめ

- 1.外国人と日本人がお互いのことをよく知って、
地域住民との関係が構築される
- 2.「いわぬま日本語ひろば」は参加者にとって地域の新しい居場所、岩沼
における多文化共生のまちづくりの拠点になることが期待できる

地域で多文化共生を支える人材の育成

人手不足が深刻化する中、国境を越えた外国人材の獲得競争となっている

外国人材の定着につながる、外国人材が暮らし易いまちづくり



選ばれる岩沼市を支える基盤整備の取り組みが重要